



SUZUKA 8h ENDURO 2022

第23回 スズカ8時間エンデューロ

開催日 2022 11/12 (土)
大会プログラム

定員制・三重県 鈴鹿サーキット



風になれる爽快感!!
秋のスズカを駆け回ろう



主催 スズカ8時間エンデューロ実行委員会

企画・運営 株式会社マトリックス

協力 三重県自転車競技連盟 / 株式会社モビリティランド / 南船場スポーツグラスサロン 眼' z
ナスコ株式会社 / Sports MC DJ PA Team 'REAL' / 株式会社キャパクリエーション

サイクリストの秋祭り

スズカ8時間エンデューロの主役になって一緒にワクワク楽しく盛り上がりましょう！



スズカ8時間エンデューロファンの皆さん、お待ちしました！ 2022年秋はワクワク楽しい大会を目指して開催いたします！

日本のサイクルエンデューロの草分け的大会として2000年に始まった本大会も、今年で23回目。上位入賞を目指すアスリートだけでなく、自身が記録した周回数の更新を目指したり、それぞれの目標を持って体力や脚力に合わせて走ることができるため、初心者から上級者まで多くのサイクリストに支持され、間もなく四半世紀になろうとしています。

今回は大きく6時間と4時間エンデューロの2種目に。そして、それぞれロード、男女混合の各クラスに分かれて実施、4時間エンデューロではWOMENクラスとファミリークラスも設けられます。

スズカ8時間エンデューロは、規定の時間内に何周走れたかを競うレースで、周回遅れになっても走れなくなることはありません。また、ピットで休憩したり選手交代することもできるので、速く走りたい人ものんびり走りたい人もそれぞれのペースで走ることができるのも人気の秘密です。

競技時間が6時間や4時間という、初めて参加される方は長いように思うかもしれませんが、チームで参加して何人かで分担して走ればひとりあたりの周回数・走行時間も短くなります。自分のペースでしっかり走るか、仲間と協力し合って楽しく走るか、また時間や順位を気にせずサイクリングを満喫するかなど、どのように楽しみたいかで競技種目を選んでいいんです！

スズカ8時間エンデューロは、参加者一人ひとりがそれぞれの目標に向けて自分のペースで走る、このため参加者一人ひとりが主役と言っても過言ではありません。あなたもこの秋、サイクリストの秋祭り・スズカ8時間エンデューロで主役になって、一緒に盛り上がりましょう！



開催日 **2022 11/12 (土)**

主催
企画・運営
協力

スズカ8時間エンデューロ実行委員会
株式会社マトリックス
三重県自転車競技連盟
株式会社モビリティランド
ナスコ株式会社
南船場スポーツグラスサロン 眼' z
Sports MC DJ PA Team 'REAL'
株式会社キャパクリエーション

定員制 / 会場：三重県鈴鹿サーキット
大会プログラム

鈴鹿8時間エンデューロ大会事務局

〒592-0012 大阪府高石市西取石7-7-33

TEL (072) 340-1693 (平日 10:00 ~ 17:00)

FAX (072) 340-1698

mail suzuka8h@powertag.jp

web <https://suzuka8h.powertag.jp/>

contents

協賛各社・大会役員・実行委員	3	コース紹介	12
実施競技	3	競技者の装備と車両規定について	13
大会スケジュール	4	競技規則・競技方法	14
感染症予防対策について	5	表彰について	15
入場からスタートまでの流れ	6	メカニックサポート	16
会場案内	7	レース経過速報	16
スタート・ゴール レイアウト図	8	パワータグとゼッケンの取り扱い	17
選手の皆様へご案内	9	イベントのご案内	19
ビットエリアについて	10	MC紹介	21
サイクリストの心得&マナー	11	ホストチーム紹介	22



第23回スズカ8時間エンデューロ 協賛各社

アールケー・ジャパン株式会社	(一社)スポーツアロマ・コンディショニング
RGTエンタープライズ	株式会社ネックス
outré	株式会社パールイズミ
旭化成アドバンス株式会社	VALETTE
アスリチューン	FEELCAP
イナーメ・スポーツアロマ	FOOTMAX
インターマックス	ボディウム
ヴィブロス	マヴィックジャパン株式会社
株式会社ウベックススポーツジャパン	ミズタニ自転車株式会社
サイクルウエア apt	メリダジャパン株式会社
OGK KABUTO	ヨネックス
カルノパワー	株式会社Re・蘇
CCN JAPAN	WAKO'S
株式会社ジェイテクト	(50音順・敬称略)
スポーツキッド	

大会役員・実行委員

大会名誉会長	辻 義光
大会会長	安原 昌弘
大会副会長	吉村 慎一
大会実行委員長	大鳥居 雅
競技本部	待田 浩一
決勝審判	三重県自転車競技連盟
コースマーシャル	吉田 大輔
実況アナウンサー	スポーツMCコウゼン (Team REAL)
	絹代
計測・記録	森田 陽介
選手受付	灘 幸宏
式典	高橋 仁
広報	仙頭 康廣
救護	穂崎 泰宏
撮影	高田 健司

実施競技〈4時間・6時間エンデューロ〉

※参加資格はすべて大会当日の学年を適用します。

※競技に使用する自転車はすべて車両規定 (P13) に準ずるものとします。

種目名	カテゴリー	表彰カテゴリー		使用自転車・参加資格	ゼッケン色
		ソロ	チーム		
6時間エンデューロ	ロード	○	○	車種制限なし・中学生以上の男女	白
	男女混合 ※1	-	○		
4時間エンデューロ	ロード	○	○	車種制限なし・中学生以上の男女	青
	WOMEN	○	-		
	男女混合 ※1	-	○		
	ファミリー ※2	-	○	車種制限なし・小学生以上の男女	

※1 男女混合：女性1名以上を含む

※2 ファミリー：19歳以上女性と中学生以下の各1名を含む。19歳以上男性1名とその他メンバーが中学生以下である場合は可。
ただしチーム内で19歳以上の男性は1名まで。

大会スケジュール

- ご入場前に検温チェックを行います。時間がかかることが予想されますので会場へはお早めにお越しください。詳細はP5の「感染症予防対策について」をご確認ください。
- エンデューロのライダーズミーティングには各チームの第1走者が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。
- タイムスケジュールは都合により変更する場合があります。



0:00 ~

サーキット駐車場・第7駐車場入場

シャトルバスは5:00より運行
〈降車場にて検温〉

4:00 ~

モータースポーツゲート入場

〈グランプリスクエアにて検温〉

5:00 ~

開門・受付開始（ピットNo.45-46）

※受付はスタート30分前までに済ませてください。

7:25 ~

ロードレース講習会

ピットNo.48のピットロード側（開始5分前までに集合）

7:25 ~ 8:25

試走

本コースを初めて走る方や初心者には必ず試走してください。
参加者以外は走行できません。コースインは8:15までです。

8:40 ~

エンデューロ 選手コースイン

ソロ選手およびチームの第1走者は集合エリアに招集後、スタートエリアに移動。6時間エンデューロはピットロード出口、4時間エンデューロはピットロード入口が集合エリアになります。

※マスクの着用をお願いします

8:50 ~

エンデューロ ライダーズミーティング

コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

9:00 ~

6時間エンデューロ スタート（終了時間 15:00）

9:03 ~

4時間エンデューロ スタート（終了時間 13:03）

ピットロード閉鎖・シケイン含む
（入口:各競技終了5分前～出口:各ゴール時刻より20分間）

※ピットロード閉鎖の時間帯は選手交代できません。

13:30

4時間エンデューロ 表彰式・抽選会（1回目）

15:30

6時間エンデューロ 表彰式・抽選会（2回目）

- 6時間ゴール時、仮装チームメンバー全員でゴールできる「パフォーマンスパレード」を実施します。
- 抽選会は2回実施しますが、参加（投票）する権利はおひとり様1回のみです。ご自分が参加できる時間帯の抽選会に参加してください。
- 閉会式は実施いたしません。
- お帰りの際は会場内の荷物は全て撤去してください。

第7駐車場から入場

入場：AM0:00 ~

第7駐車場～会場間のシャトルバスを運行いたします。降車場にて検温をお願いします。

シャトルバス運行時間（予定）

第7駐車場発：5:00 ~ 10:00

会場発：14:00 ~ 17:00

モータースポーツゲートから入場

入場・検温：AM4:00 ~

会場へ入場される際、全員の検温を実施します。体温が37.5度以上の方はご入場いただけません。



感染症予防対策について

新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底するために、参加者への皆様にもご協力いただく点をまとめています。今大会では参加される方全員に「健康確認書」をご記入・ご提出いただいておりますのでご注意ください。

※感染状況、社会状況等によって随時見直しを行っていきます。

基本対策

会場内では競技中以外はマスクを着用し、人と人との身体的距離を保ってください。また手洗い、うがいに加え、会場内の要所に消毒液を設置いたしますので、こまめに手指の消毒をしてください。

新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールをお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



〈COCOA〉

『安心みえるLINE』も実施いたします。主要カ所にQRコードを掲示いたします。是非ご利用ください。



https://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000076_00004.htm

〈安心みえるLINE〉

！ 入場をお断りする場合

37.5度以上の発熱がある場合は入場できません。

発熱がない場合も咳・咽頭痛など体調が良くない、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は来場をお控えください。

新型コロナウイルス感染対策として 下記のご協力をお願いいたします

① 検温を実施いたします

モータースポーツゲートから入場・検温 AM4:00～入場

入場される際、検温を実施します。体温が37.5度以上の方はご入場いただけません。検温が済みましたら会場方面へお越しください。ピットゲート（3カ所）は開門時間まで閉鎖されています。パドックで待機し、AM5:00～よりお入りください。



シャトルバスをご利用の方・検温 AM5:00～入場

第7駐車場～会場間のシャトルバスを運行いたします。降車場にて検温をお願いします。第7駐車場から会場への移動についてはP6をご確認ください。

※感染対策の為、参加者と競技者サポートの為の同伴者は付き添い入場のみの可（半券を掲示）とさせていただきます。19才未満の参加者の同伴者に限り1枚で2名入場できます。当日入場チケットの販売はございません。これまでは「観戦入場券」および「参加確認証」で鈴鹿サーキットパーク（遊園地）に入場できましたが、今年は「鈴鹿サーキットパーク～レース会場の往来」だけでなく「第7駐車場から鈴鹿サーキットパークへの入場」もできません。

② 「健康確認書」の提出

ご記入の上、選手受付（AM5:00～/ピットNo.45-46）に提出。

受付にてゼッケン・計測タグと引換となります。チームやグループで来場の場合は、代表者のみ全員の「健康確認書」を持って受付にお越しください。

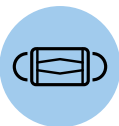


③ マスクの着用

レースご参加、応援の方もマスクのご用意をお願いいたします。

会場内はマスク着用が基本となります。試走・競技中以外はマスクを着用してください。感染対策のご協力に従えない場合は、退場をお願いいたします。

※但し、周囲の人と距離を保てる場合はこの限りでない。



④ 手洗い・消毒のお願い

会場内の要所にアルコール消毒液を設置します。

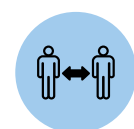
手洗い、うがいに加え、こまめに手指の消毒をしてください。



⑤ ソーシャルディスタンス

待機中にもできるだけ身体的距離の確保をお願いします。

会場内では密集を避けて、人との距離をできれば2m以上確保するようご協力ください。ピットレーンなどで人との距離を保てない場合は、大きな声での応援を控えてください。



⑥ 抽選会は2回に分けて行います

人数の分散を図り、実施する予定です。

今大会は抽選会・ロトラップでドン・パフォーマンス賞を実施いたします。大会プログラム冊子の会場配布はいたしません。

⑦ 入賞者・成績発表など

リザルト、緊急のお知らせなどはウェブサイト〈LAP CLIP〉でご確認ください。

会場内でリザルト等の貼り出しはいたしません。リザルトや途中経過速報は〈LAP CLIP〉でご確認ください。最終結果成績表や入賞者の発表は大会公式ウェブサイトに掲載発表いたします。

※原則として雨天決行ですが、台風や地震などの天災、または天変地異により中止・変更する場合があります。地震・風水害・降雪・事件・事故により大会開催が不可能の時、新型コロナウイルスに起因する中止の場合、参加料の返却はございません。予めご了承下さい。開催中止など緊急のお知らせは〈LAP CLIP〉で確認できます。



〈LAP CLIP〉

<https://matrix-sports.jp/lap/>



〈大会ウェブサイト〉

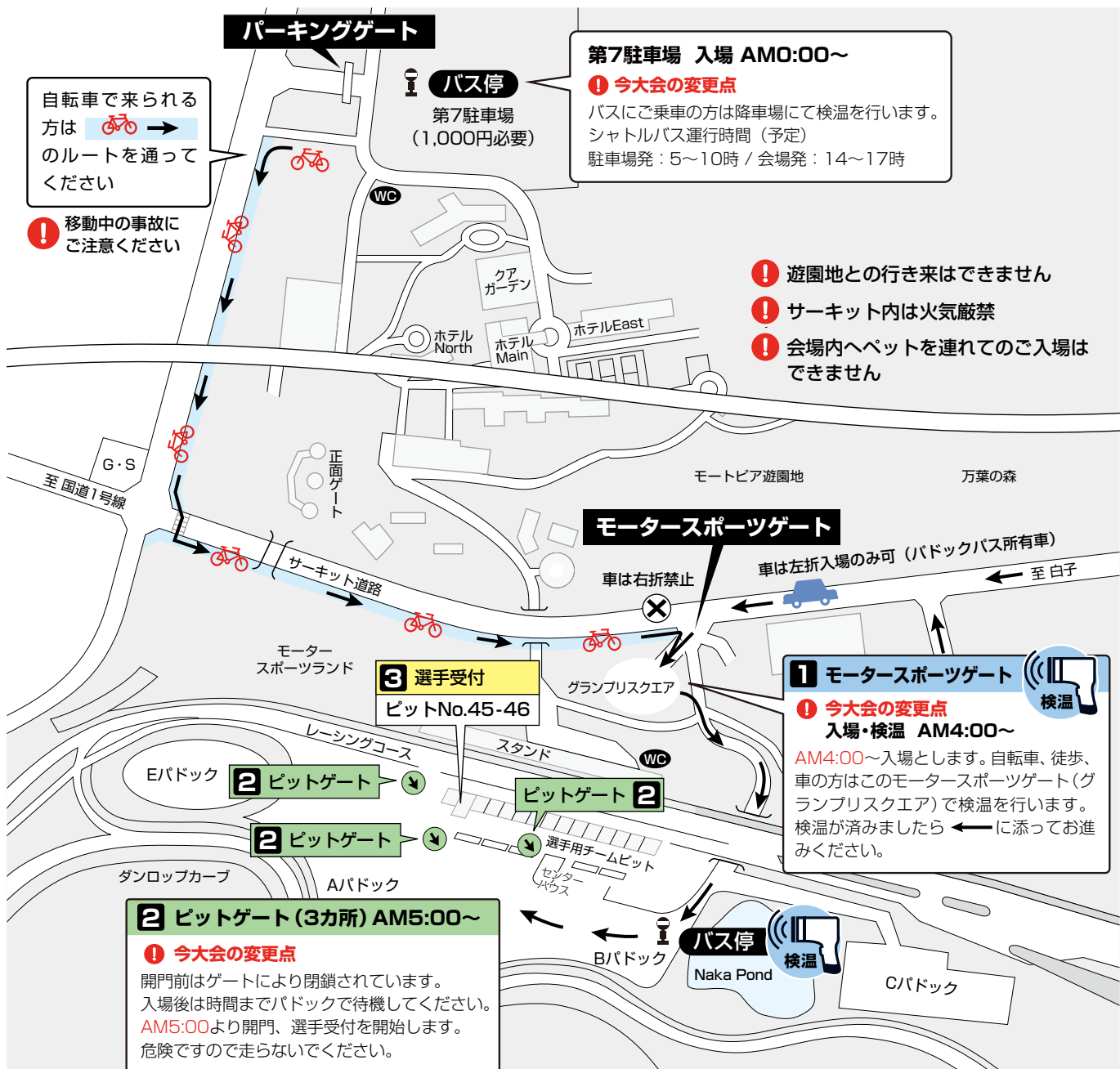
<https://suzuka8h.powertag.jp/>

⑧ その他留意事項

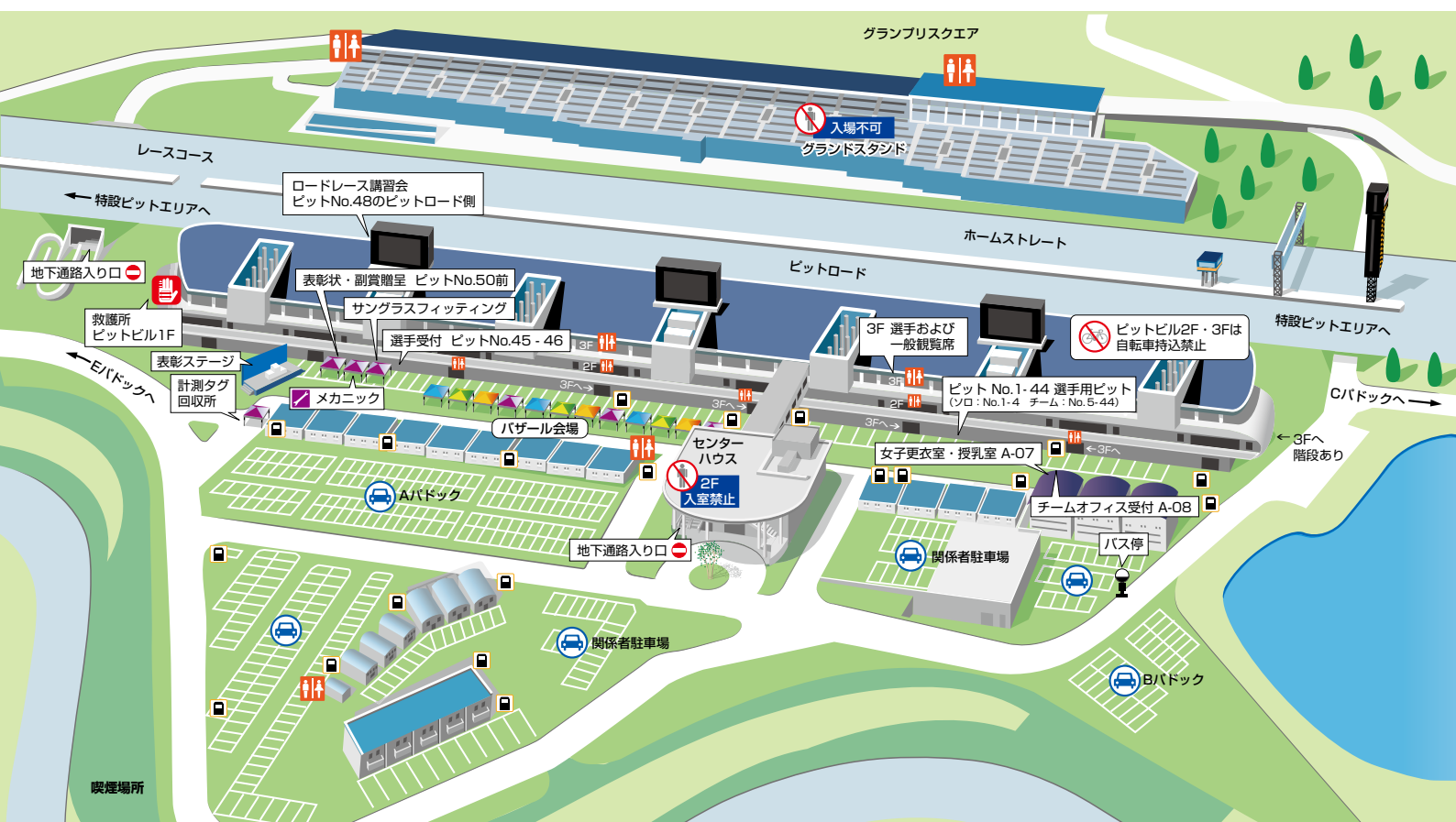
- 競技中に唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- タオル、ボトルなどの共用は行わないこと。
- ドリンクなど回し飲みは行わないこと。
- 食べ残し、飲み残しなどを放置しないこと。
- 飲食時は周囲との距離を取りなるべく会話をお控えください。
- 体調に異変がある場合は、大会スタッフに速やかに申し出てください。
- レース終了後はスムーズな退出を心掛け、準備ができ次第順次ご帰宅をお願いします。ミーティングや懇親会などにおいても三つの密を避けましょう。
- 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに主催者に報告をお願いします。

入場からスタートまでの流れ

1 鈴鹿サーキットへの入場（パドックバス） 4:00 ~	モータースポーツゲートにて同伴者を含む全員の検温を行います。車の方は乗車したまま行きます。
2 ビットゲートから会場へ 5:00 ~	検温が済みましたら会場方面へお越しください。ビットゲート（3カ所）は開門時間まで閉鎖されています。パドックで待機し、AM5:00 ~よりお入りください。
3 受付（ゼッケン・チップ受取・健康確認書を提出） 5:00 ~	5:00より受付開始します。代表者1名が参加確認証、健康確認書を持って、ビットNo.45-46の受付までお越しください。健康確認書と引換えに、ゼッケン、計測チップをお渡しいたします。
4 試走・ロードレース講習会（参加者のみ） 7:25 ~	この時間を利用しコースを確認してください。ビットNo.48ビットロード側にてチームマトリックスによる安全講習会を行います。走れる準備をしてお越しください。
5 招集・コースイン（チームの場合は第1ライダーのみ） 8:40 ~ ※マスクの着用をお願いします	ビットレーンにて2カ所で招集を開始します。6時間はビット出口側、4時間はビット入口側にお集まりください。後方よりゆっくりスタートされる方は、コースインのタイミングでコースにお集まりください。
6 エンデューロ スタート 9:00 ~	6時間を先頭に時差スタートとなります。メンバー交代、休憩の場合はビットエリアを利用してください。



会場案内



遊園地内は自転車持ち込み禁止

自転車を遊園地内に持ち込むことは禁止されています。一般のお客様のご迷惑になりますのでご注意ください。
 これまでは「観戦入场券」および「参加確認証」で鈴鹿サーキットパーク（遊園地）に入場できましたが、今年は「鈴鹿サーキットパーク～レース会場の往来」だけでなく「第7駐車場から鈴鹿サーキットパークへの入場」もできません。

ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込み禁止

ピットビル2F・3Fへの自転車持ち込みは禁止されています。自転車は1Fのピットロード周辺かパドック側に、バイクラックやスタンドに止めて施錠するなど、各自で管理してください。



ペットを連れてのご入場はできません



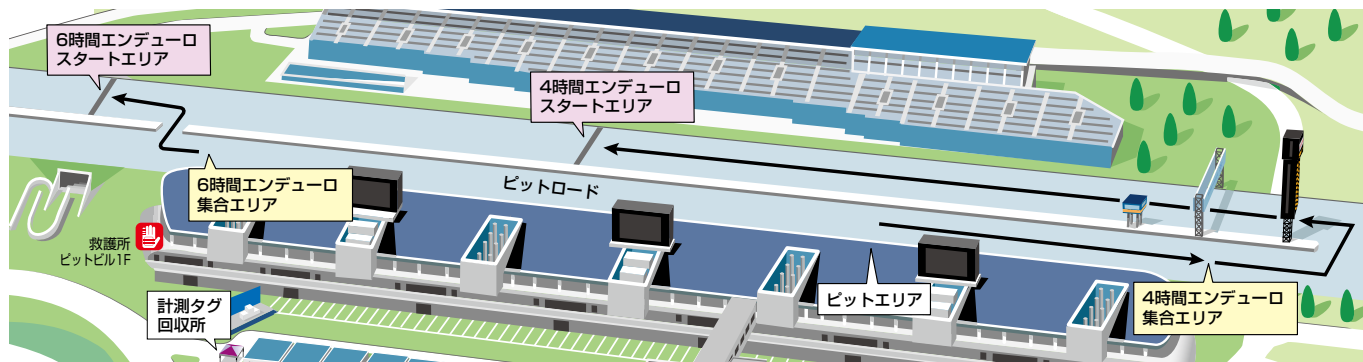
ゴミ箱設置場所
 ゴミの分別にご協力ください

会場内火気厳禁 喫煙は所定の場所で



スタート・ゴール レイアウト図

集合・スタートエリア 〈6時間・4時間エンデューロ〉



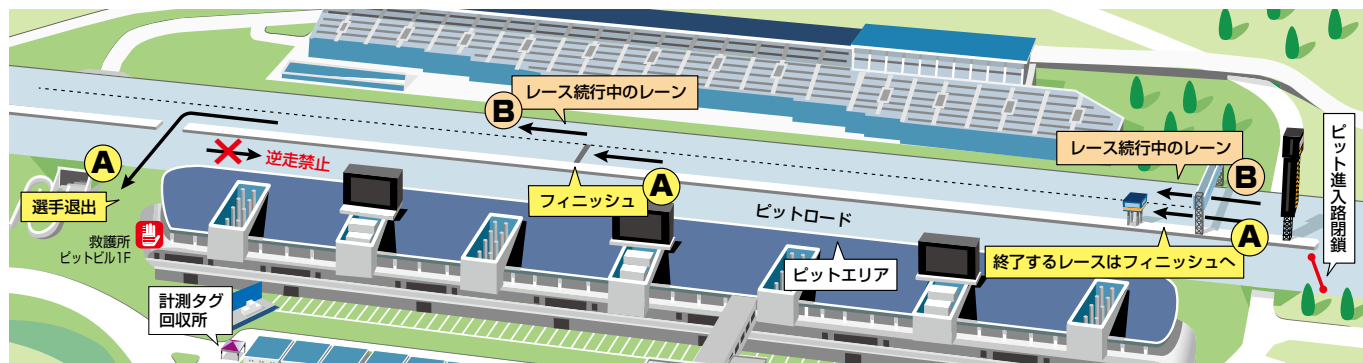
●ライダーズミーティング 8:50 ~

※コース上スタートラインに整列した状態で行います。各チームの第1走者とソロ選手が参加してください。
大切な確認事項のお知らせがありますので、チームピットに待機している選手も必ずお聞きください。

●6時間エンデューロ スタート 9:00 ~

●4時間エンデューロ スタート 9:03 ~

フィニッシュ 〈6時間・4時間エンデューロ〉



●4時間エンデューロ ゴール 13:03

●6時間エンデューロ ゴール 15:00

競技が終了した選手は上図の「**A** 終了するレースはフィニッシュへ」ラインを走行し、フィニッシュ後は退出してください。
レース続行中の選手はコース右側の「**B** レース続行中のレーン」を走行してください。

●ビットロード閉鎖

終了するレースの選手がゴールしている時間帯（入口：各競技終了5分前～出口：各ゴール時刻より20分間）はビットロードを閉鎖します。この間レース続行中の選手はビットロードに進入できません。

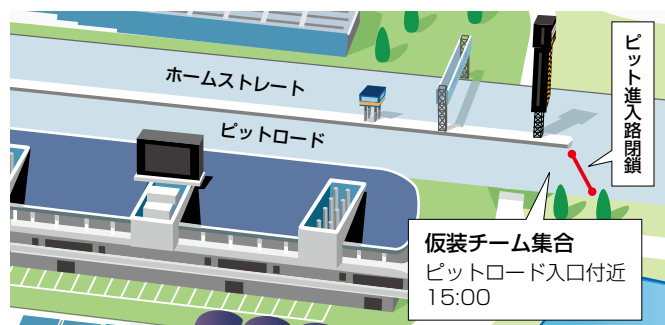
※競技が終了した選手はピットの荷物などを片付けて、競技中の選手に場所を譲るようにしてください。

※自動計測器「パワータグ」の返却

チームオフィス横に「パワータグ回収所」を設けています。レース終了後には必ず返却してください。

※仮装チームメンバー全員でゴールできる「パフォーマンスパレード」を実施します。コスプレなどのパフォーマンス賞狙いで、ゴールタイムにこだわらないチームは、最終走者とともにメンバー全員で最後のアピールができます。6時間エンデューロが終了する15:00に、チーム衣装を着用して自転車に乗って、閉鎖したビットロード入口付近にお集りください。

※パレードは4時間、6時間を問わず参加者であればどなたでも参加できます。ヘルメットは必ず着用してください。



選手の皆様へご案内

試走（参加者以外は不可）AM 7:25～8:25

初心者や鈴鹿サーキットコースを初めて走られる方は、必ず試走してください。路面状況やコーナーの曲がり具合を事前に知っておけば安心して走れます。

コース使用の注意

コースは試走時間およびレース以外での自転車の乗り入れはできませんのでご注意ください。

ヘルメットの着用

試走およびレースでコースを走行する場合は必ずヘルメットを着用してください。（ヘルメットは日本自転車競技連盟公認のものでなくても結構ですが、ご自身の責任で判断してください）

※ヘルメットは転倒時に外れないよう、アゴひもをしっかり固定してください。

※グローブなど安全装備の着用を強く推奨します。

場内アナウンス

大会運営上の変更点のお知らせや緊急の呼び出しなどは場内アナウンスを使用しますので、速やかな対応をお願いいたします。

インフォメーションボード

今大会インフォメーションボードは設置いたしません。レース結果はスマートフォンやタブレットなどから〈LAP CLIPウェブサイト〉でご確認ください。

授乳室

ピット裏のチームオフィス〈A-07〉に授乳室を設けています。赤ちゃんやお母さんの休憩にご利用ください。（P7参照）



トイレ

トイレは鈴鹿サーキットのピットビルやチームオフィスなどの施設にあります。

喫煙場所

会場での喫煙は、所定の喫煙場所で行ってください。ピット、パドックほか会場内での火気は厳禁です。

チームカー専用駐車場

パドックパーキングパスで入場したチームカーはA・B・C・Eパドックの指定の場所に駐車してください。

※テントやテーブル、機材などで駐車場を使用することは禁止です。

チームピット

チームのピットNo. は参加確認証に印字されています。各チームは指定されたチームピットを使用してください。（ピットエリアはテント、タープ禁止。火気厳禁）

接触や追突に注意

競技の性質上、コース上にスピードの異なる走者が同時にたくさん走ることになります。接触や追突などに十分注意し、お互いにマナーを守ることを心がけましょう。

走行中のマナー

！ 他の選手の衣装や体には絶対触らないこと

選手はレース中に走行レーンを守って他の選手に迷惑をかけないようにしてください。特に他の選手にむやみに接近したり、衣装や体に触れることは危険ですので絶対にしないでください。これらの行為で恐怖を感じたり、また転倒して大きな事故に至ることもあり得ます。みんなが気持ちよく走れるよう心がけましょう。

競技中の禁止事項



※大会主催者が認めた場合を除いて、営利を目的とした動画および写真撮影を禁止します。

小型無人飛行機等の禁止

サーキット施設内で許可なく小型無人飛行機等（ドローン・ラジコン等）の操縦・飛行等の行為を禁止します。

スポーツ傷害保険について

参加者全員を対象に傷害保険（通院日数×2,400円、入院日数×3,500円、死亡後遺障害300万円）に加入しています。この補償内容で不十分な方は、各自で別途加入してください。

なお、競技中に起きた事故については、たとえ軽傷であっても、必ずその日のうちに救護所に申告してください。当日連絡できなかった場合は、2日以内に代理店へ連絡してください。連絡がない場合は保険金が支払われません。

●スポーツ傷害保険 代理店 株式会社保険コンシェルジュ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル5階
TEL (06) 6227-8935 FAX (06) 6227-8936

貴重品の管理

大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。

お問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは選手受付にて対応いたします。

ピットエリアについて

特設ピットエリア

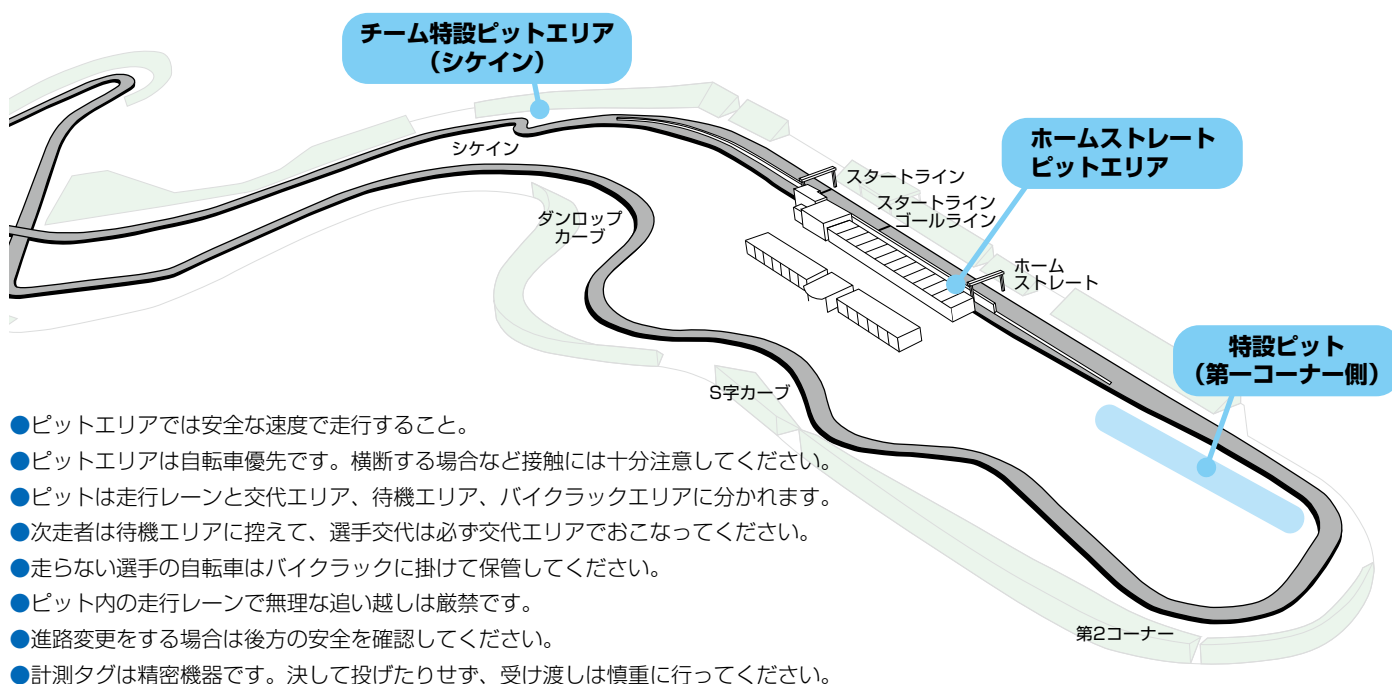
シケイン付近のコースサイドと第1コーナー側のコースサイドに特設チームピットエリアを設けます。テントなどを持参してチームピットとして使用できます。コースサイドのピットエリアなのでスムーズな選手交代が可能です。

特設ピットエリアは係員の指示に従って主催者が定めた区域を使用してください。

特設ピットエリアの使用時間はピットオープン～PM6:00
までです。この時間外に残されているテント、備品などは
すべて撤去いたします。

※今大会、パドック内の特設テントは設置いたしません。

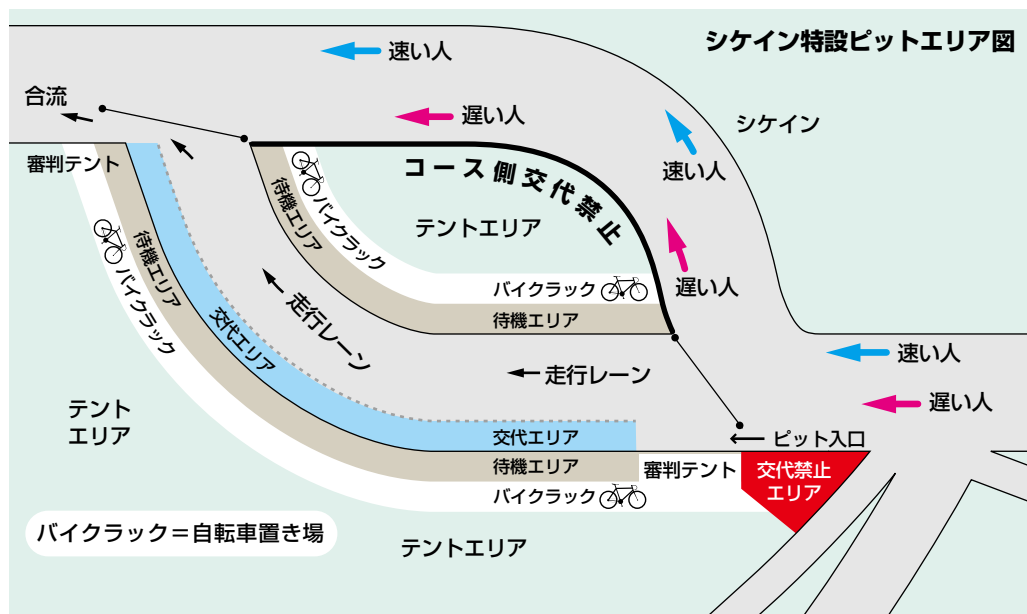
▼ホームストレートピットエリアの配置



- ピットエリアでは安全な速度で走行すること。
- ピットエリアは自転車優先です。横断する場合など接触には十分注意してください。
- ピットは走行レーンと交代エリア、待機エリア、バイクラックエリアに分かれます。
- 次走者は待機エリアに控えて、選手交代は必ず交代エリアでおこなってください。
- 走らない選手の自転車はバイクラックに掛けて保管してください。
- ピット内の走行レーンで無理な追い越しは厳禁です。
- 進路変更をする場合は後方の安全を確認してください。
- 計測タグは精密機器です。決して投げたりせず、受け渡しは慎重に行ってください。

チーム特設ピットエリア（シケイン）

シケインに設けられた特設ピットエリアの入り口と出口には審判テントを設置し、公正なレース運営にあたります。このピットエリアは、本大会が特別に定めたピットエリアです。このためピットへの入り方や出口から本コースへの合流など、注意が必要です。また、参加選手は走行レーンや待機エリア、バイクラックエリア、テントエリアなどの区域を十分認識していただき、お互い協力して安全で楽しいレースに心がけてください。



※シケイン特設ピット内にバイクラックを設置します。

※シケイン特設ピット付近に
テントを張る場合は必ずバ
イクラックの後方に設置し
てください。

※強風などで飛ばされないようにテントの設営はしっかり固定してください。また、手荷物などがコース内に入らないようしっかり管理してください。

サイクリストの心得&マナー

レースはルールによって成り立っている競い合いです。一番大切なのは、他のサイクリスト（仲間）を危険な状態にしないという思いやりの気持ちです。安全走行で楽しいレースにしましょう。

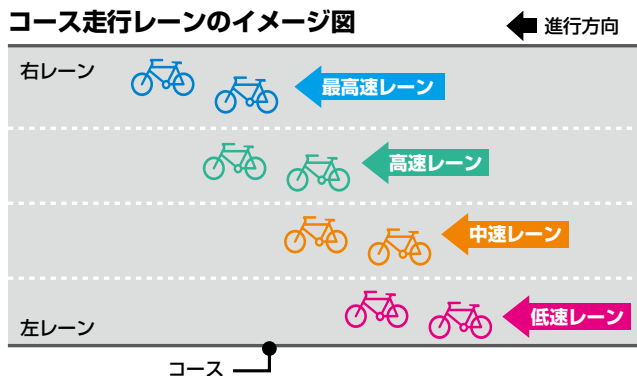
安全にレースを走る為の心得

鈴鹿サーキットエンデューロでは、速度差のある選手が同じコースを混走します。その状況で走行中の安全を確保するためには、参加選手である皆様の協力が必要です。

1. 走行レーンの維持

鈴鹿サーキットコースを反時計回りで競技を行います。ゆっくり走る方はコース左側のレーンを、前走者を追い越す場合は右側のレーンから追い越します。追い越した後しばらく右側のレーン走行を維持します。サーキットには普通道路のように車線を区切るラインはありませんが、4本のラインで仕切られた走行レーンを走るイメージで走ってください。（下図参照）

コース走行レーンのイメージ図



2. 視野を広く確保する

前の選手だけを見るのではなく、目線を上げて100m先を見るつもりで前方の動きを把握して走行しましょう。

3. 急な進路変更は厳禁

レース中は集団で走行しているので、自分の前後左右には他の選手が走行しています。進路変更やピットへ入る時は手で合図をするなど、注意を促して、安全を確認してから進路変更しましょう。

4. 声出しをしよう

追い越しを行う時は「右、通ります」、ピットへ入る時は「ピットへ入ります」と一声掛けると、周りにいる選手もその動きに対して構える事ができるので、選手同士の接触を防止する事につながります。

5. よそ見をしない

視線は常に前を向けて走ろう。コース脇からの声援に視線を向けたり、苦しくなって下を向いて走らないように注意しましょう。前方を見ていないうちに、自転車は意外に前へ進んでいます。

※スタート時は沢山の選手に囲まれてスタートしますので、特にこの5つを厳守しましょう。

※ピットエリアでは安全な速度で走行・横断注意。

サイクリストとしてのマナー

自分が怪我をしないように、また他の選手を事故に巻き込まないためにも以下の2つを守って下さい。



！ スタート前のチェック

- 自転車の安全点検
- ヘルメットのチェック：損傷がないかチェックして、アゴ紐を締めて正しく被ります。浅く被ったり、深く被りすぎても万が一の時にヘルメットの性能が発揮されません。（注意）ヘルメットは経年劣化します。購入後3年間で保護性能有効期間です。
- 服装のチェック：靴紐やズボンの裾などがギアなどに絡み付くと危険です。できるだけ体にフィットする服装で走行しましょう。
- 計測チップ：計測チップは正しく装着しましょう。間違った向きや場所に装着すると正確な記録が計測できない恐れがあります。

！ 走行中にトラブルが発生したら

1. パンク

- 手を上げたり、「パンク」と声をだして周囲の選手にパンクした事を伝えます。
- 急停車するのではなくゆっくりと減速し、後方から来る選手に注意を払いながらコース左端へ退避し、コースから出て停車します。（急停車・急な進路変更は後ろからの追突事故につながります）
- コース脇を自力でピットまで戻ってください。無理な場合は近くの大会スタッフに現状を伝えてください。

2. 転倒した場合

- 転倒時は、体を出来るだけ小さくして最後までハンドルから手を離さないようにしましょう（手を離して手から着地すると鎖骨が折れることがあります）。動ける場合は周囲の安全を確認してコース脇へ移動します。無理な場合は体を丸めて小さくなり、スタッフの到着を待ちます。直ぐにスタッフが駆けつけます。

コース紹介

左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄り走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



緩やかに下りながら急カーブしている文字通りヘアピンカーブです。左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄り走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。



アルファベットの「Z」形のように鋭角に曲がりくねったコーナーになっています。アウト・イン・アウトのラインで走ろうとすると、並走している選手と接触します。必ず自分が走っているレーンを維持して走りましょう。



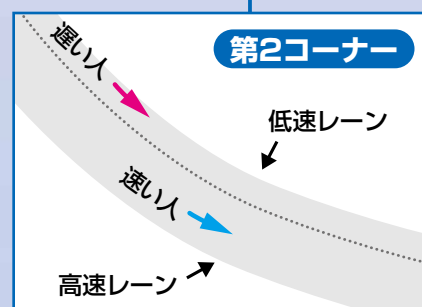
緩やかに下っている直線なので単独で走っていると危険を感じない場所ですが、ストレートの後半は上り坂になっています。集団で走っていると、自然渋滞の様に前方の選手が一気に減速しますので、追突に注意しましょう。また、ギア変速によってチェーンが外れて失速する選手や、止まっている選手もいます。目線を遠くして、前方の動きに注意しましょう。



25Rは直角に近い急カーブです。ヘアピンからデグナーへずっと下りが続いているのでスピードコントロールしてください。右側から追い越す選手は、左側を走行している選手の走行レーンを塞がない様に注意しましょう。



ダンロップカーブからS字カーブ、第2コーナーへと連続して下りのカーブが続きます。自分の技量を自覚してコントロールできるスピードを維持しましょう。左側（アウトコース）をゆっくり走っている選手は、心理的にコースの中央寄り走りたくなります。しかし、右後方から速い選手が次々と来ますのでキープレフトを維持してください。

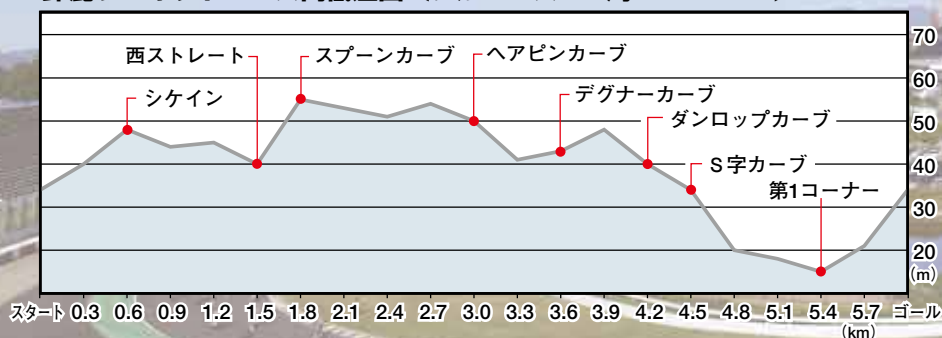


！ 第2コーナーコース規制区間

第2コーナーはコース規制区間です。インコースはゆっくり走る低速レーン、アウトコースが速い人用の高速レーンに区分しています。



鈴鹿サーキットコース高低差図（フルコース=1周 5.807km）



競技者の装備と車両規定について

競技者の装備

- 1) 全ての競技者は落車時に頭部を保護する為に、ヘルメットのアゴひもをしっかりと締めた着用を義務付けます。使用ヘルメットが、使用上安全であると認められるものはJCF(日車連)公認の物でなくても使用を認めます。(但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る。)
- 2) 全ての競技者は、主催者から用意されたゼッケン及び計測タグを指定の位置に取り付けることを義務付けます。

※衣装および車輛の装飾については、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の装飾物を取り付けることは認めません。

仮装衣装は、ノースリーブや極端な露出の衣装を着用することを禁止します。

着用する衣装の丈の長さは、車輪巻き込み防止のため膝頭より上とし、走行時に本人を含む、周りの方へ危険を与えない事。

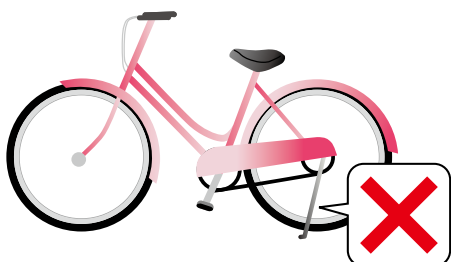


車両規定

レースに使用できる自転車については下記の車両規定をご覧ください。

- 1.参加者が使用できる自転車は、フリー式とし、前後ブレーキは完全なものとしします。
- 2.使用する自転車はサーキットでの高速走行に耐える強度を備え、よく整備された自転車である事を義務付けます。
- 3.全カテゴリーでディスクブレーキの使用を認めます。
- 4.トライアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。
- 5.フラットハンドルバーのエンドバーは認めますが、エンドバーを本来の目的以外に使用する事を禁止します。また、フラットバー以外でも付属品の使用方法が本来の目的以外の使い方である、または、車両既定の禁止事項に類似すると判断された場合は、審判長の判断により走行禁止や規制を加えられる場合があります。
- 6.ディスクホイールはパフォーマンス目的での利用に限り使用可能とします。集団走行での使用は認められません。
- 7.バトンホイール・スピナジーの使用は認められません。
- 8.1本足スタンドは必ず外して走行してください。
- 9.電動アシスト付自転車、タンデム車は出場できません。

※自転車について詳細は大会事務局までお問い合わせください。



●ロード

通常ロードレーサーと呼ばれる車種全般とします。このカテゴリーへのクロスバイク、MTBでの参加もOKです。その場合タイヤサイズの規制及びフラットハンドルバー使用の規制はありません。



●フラットバー

クロスバイク、MTBなどフラットハンドル付の自転車。車輪径とタイヤの太さの制限はありません。エンドバーの使用は認めますが、緊急時のブレーキ操作が可能なブレーキレバーを装着した自転車のみとします。スリックタイヤの使用は可能です。



●ママチャリ

前カゴ付きの一般車で、通学用及び買い物などに使用される市販の自転車。



●ミニ(小径車)

前後の車輪径が22インチ以下のスポーツ車であれば基本的に車種の限定はありません。変速機の制限は設けません。ただし、高速走行に耐えうる十分な強度を備えた自転車であること。



●リカンベント

リクライニングポジションで乗車する、リカンベントタイプの自転車です。カウリング付きも認めますが、単独で乗り降りが可能な形状のみとします。(目印となるフラッグの装着を強くお勧めします)



競技規則・競技方法

競技規則

- 1) 本大会は（公財）日本自転車競技連盟の規則に準じ、本大会の特別規則によって実施します。
- 2) 競技規則および競技運営・管理上の規定を厳守してください。
- 3) 競技は、計測タグ使用による自動計測システムにて実施します。もし計測タグを装着せずに競技に参加した場合、成績が表示されませんのでご注意ください。
- 4) 車検は行いませんので、各自責任を持って常に完全に整備された自転車を用いて参加してください。
- 5) スタート地点への移動途中やローリングスタート走行中の無理な追い越しや割り込み等、危険行為、迷惑行為を禁止します。
- 6) エンデューロのスタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図でスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。
- 7) 全ての競技においてスタート時間に遅れた競技者およびチームは、遅れた時間分をロスタイムとして計測します。
- 8) コースで他の参加者を追い抜く場合、原則的に右側から追い抜くものとします。
- 9) ピットレーン走行中は原則として他の競技者を追い抜く事を禁止します。
- 10) コース走行中、自分の走行ラインを斜めに変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い安全であるか確認することを義務付けます。
- 11) 競技中および試走時間中にコースを逆走することは安全管理上一切禁止します。
- 12) 競技者は、ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。なお、携帯したものをコース上およびその周辺に破棄する事を禁止します。
- 13) 競技中、完走打ち切りは原則として実施しませんが、審判委員および医務員から競技の中止を指示された競技者は、直ちに競技を中止してください。
- 14) 競技は参加申込にてエントリーした選手のみが出場できます。なお事前に大会本部（選手受付窓口）に、参加者変更の連絡を申し出ている場合は、代理人の出走を認めます。
- 15) 競技参加者は競技役員の指示に従ってください。
- 16) 大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。
- 17) 飲酒による出走を禁止します。
- 18) 危険行為、迷惑行為、規則違反、マナーや風紀を乱すなど、競技者として不適当な行いがあった者（チームやグループ）には警告と周回数減などのペナルティーを与えます。悪質な行為や警告が度重なる場合はレースから除外します。

- 19) 携行した飲食料の飲食はコース走行中も可能ですが、飲食料を補給する場合はピットエリア内で必ず停車して行ってください。第三者からの補給を受ける場合もピットエリア内で停止して行ってください。
- 20) 同一チームで複数名が同時に走行することを禁止します。アンクルバンド（チーム用計測タグ）を装着していない選手は走行出来ません。

※試走は省く

エンデューロ 競技方法

- 1) 競技は定められたコースの周回を重ねそれぞれ所定時間を経過した後競技を終了し、走行した周回数およびゴール着順により順位を決定します。チーム参加の場合はアンクルバンド（チーム用計測タグ）を次走者に繋ぐリレー形式で走行します。
- 2) スタート時は先着順に整列し、オートバイの先導によるローリングスタートで競技を開始します。
- 3) カテゴリーは種目によりソロおよびチーム対抗とし、6時間・4時間の耐久レースを実施します。それぞれ総合順位賞を設けています。（詳細は表彰についてを参照）
- 4) チーム構成は6時間エンデューロ ロード：1～6名、男女混合：2～6名。4時間エンデューロ ロード：1～5名、WOMEN：1名、男女混合：2～5名、ファミリー：3～4名とします。使用する自転車は同一チーム内であれば共有する事が出来ます。
- 5) 競技中の選手交代は、あらかじめ定められた各チームピット前のピットレーンにてチーム用計測タグの交換により行います。選手交代のタイミングは同一チーム内で自由に行え、チーム用計測タグを装着した選手のみ走行できます。
- 6) ピットレーンの出入口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。エンデューロに出場されている選手はその間、交代できませんのでご注意ください。
〈ピットロード閉鎖時間・シケイン含む 入口:各競技終了5分前～出口:各ゴール時刻より20分間〉
- 7) 規定時間を過ぎてゴールラインを通過し、レースを終了した選手はシケイン手前からピットロードから退出して、速やかに計測タグを返却した後、各チームピットへ戻ってください。

公式記録

- 1) 競技記録は以下の手順にて公式記録となります。
- 2) レース終了後、直ちに通告員より入賞対象選手またはチームを場内（ピットエリア）アナウンスします。同時にウェブサイトにて全てのレース結果を掲示します。
- 3) 通告、掲示後10分経って意義申し立ての無い場合、競技結果は公式記録として確定します。

表彰について

表彰ステージ上で1.2.3位の選手・チームの表彰式を行います。表彰式対象者・関係者の方はマスクを着用し表彰会場までお越しいただき、表彰受付を済ませてください。レース結果はスマートフォンやタブレットなどからLAP CLIP ウェブサイト〈<https://matrix-sports.jp/lap/>〉でご確認ください。



※リザルト掲示板・インフォメーションボードは設置いたしません。

※参加者（チーム）が10組に満たない場合は入賞対象を3位までとします。

※上位入賞者への表彰状や各副賞は当日会場でお渡しします。後日事務局から発送することはありませんので必ず当日お受け取りください。

総合順位賞

6時間、4時間エンデューロにはそれぞれ総合順位賞を設けます。それぞれの総合順位の1位には、その栄誉をたたえチャンピオンジャージを贈呈いたします。

6時間、4時間エンデューロそれぞれ総合順位賞1位～3位のチームに賞金を贈呈します。

2022
チャンピオン
ジャージ



カテゴリー別順位賞

ロードソロは上位3位まで、チームエンデューロの各カテゴリー上位6位までに賞状と副賞を授与いたします。

年代別表彰

ロードソロは別途年代別1位のみ賞状と副賞を授与いたします。（29歳以下、30代、40代、50代、60歳以上）

※ソロ、総合入賞以外が対象です。女性カテゴリーは対象外です。

表彰式

各カテゴリーの1位、2位、3位の選手は表彰ステージにおいて表彰式を行います。表彰対象選手は表彰ステージ前にお集まりください。

パフォーマンス賞

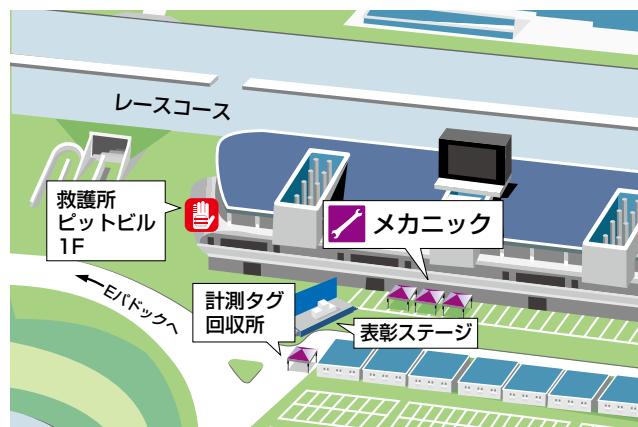
会場を楽しませてくれたチームに、パフォーマンス賞として副賞を贈呈します。

種目/カテゴリー		表彰式	表彰状/副賞	賞金
6時間 エンデューロ	総合順位賞	1～3位	1～3位	○
	ロード / ソロ	1～3位	1～3位(総合と重複あり)	-
	ロード / ソロ	29歳以下	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		30代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		40代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		50代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		60歳以上	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
	ロード / チーム	1～3位	1～6位	-
4時間 エンデューロ	男女混合	1～3位	1～6位	-
	総合順位賞	1～3位	1～3位	○
	ロード / ソロ	1～3位	1～3位(総合と重複あり)	-
	ロード / ソロ	29歳以下	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		30代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		40代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		50代	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
		60歳以上	1位(ロード / ソロ1～3位以外)	-
	ロード / チーム	1～3位	1～6位	-
	WOMEN / ソロ	1～3位	1～6位	-
	男女混合	1～3位	1～6位	-
	ファミリー	1～3位	1～6位	-

メカニックサポート

移動中や会場で突然起こった 緊急トラブルに対処する頼もしい味方

レースを楽しむには、大会の車両規定を満たすしっかり整備されたバイクで走ることが重要です。レースに来る前にショップや各自で自転車の点検・整備を行うことで会場でのトラブルはかなり防ぐことができますが、不運にも会場への移動中や現地で思わぬトラブルに見舞われてしまうことも。そんな突然のトラブルに対応してくれる頼もしい味方がメカニックサポートです。プロのメカニックが最低限の応急処置を行ってくれます。レースに出るのをあきらめたり、トラブルを放置して出走して重大な事故につながる前に、まずはメカニックサポートに相談してみてください。



※部品交換を必要とするような大がかりな修理には対応できない場合があります。また、簡単な部品交換で対応できる場合は部品代のみの有償となります。交換部品や対応する工具がない場合もあります。あらかじめご了承ください。

※メカニックサービスはレースに出走するための緊急対応のみとなりますので、整備不良車やレース出走後のトラブル対応や調整・整備はお断りさせていただきます。

※メカニックサポートでの応急処置は一時的なものです。レース終了後に必ず専門店で修理や整備を受けてください。

レース経過速報

無料で好きなときにラップタイムや順位をチェックできる！ ラッパー覧チェックサイト「LAP CLIP」

スマートフォンやタブレットなどのお手持ちのモバイル端末で、カテゴリー別にチームや選手の順位やラップタイムの速報がいつでも無料で確認できるサービス「LAP CLIP」。無料のサービスながら提供されるデータも充実していて、各周回のラップタイムが1000分の1秒まで詳細に表示される一覧表形式、周回ごとの推移がビジュアル化されてわかりやすいグラフ形式の表示が選べます。ラップタイムや周回数などのデータは、選手たちがコントロールライン通過後にほぼリアルタイムで更新されるので、常に最新の情報を確認できます。チームのメンバー交代のタイミングを図ったり、ライバルチームの動向を確認したりするなど、レースの戦略を練るのに役立ちます。

サービスのご利用は下記URLまたはQRコードでアクセス！

<https://matrix-sports.jp/lap/> (PC・スマホ対応)



※速報データのため、順位・タイムは後から修正される可能性があります。



23回大会の様子をレポート

下記URLまたはQRコードでアクセス！

<https://suzuka8h.powertag.jp/>



大会の魅力をたっぷり伝えるwebレポートを大会終了後にアップします（11月下旬予定）。レースレポートや大会の裏話、チーム紹介、優勝者のプロフィール、イベントでのエピソードといった読み物を満載した楽しいレポートです。感動のゴールシーン、サポーターの皆さんの表情を撮った写真もたっぷり掲載します。大会の思い出をwebで追体験してください。

パワータグとゼッケンの取り扱い

自動計測「パワータグ」は個人用のフロントホーク固定式計測タグとチームリレー用のアンクルバンド式 計測タグがあります。個人用はソロの参加選手、チーム用は1チームに1個お渡しします。

フロントホーク固定式計測タグ（ソロ用）

ソロの参加選手全員に個人用計測タグセット（固定式計測タグ、タイラップ2本 / 写真①）をお渡ししています。使用する自転車に装着してください。固定式計測タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、フロントホークの図②の位置に固定してください。

※ソロの参加選手には個人用固定式計測タグのみお渡ししています。（アンクルバンド式計測タグはありません）

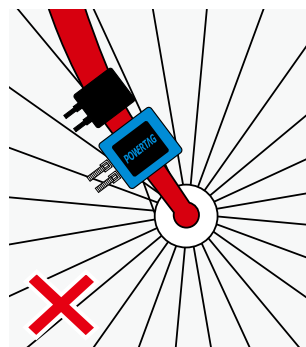
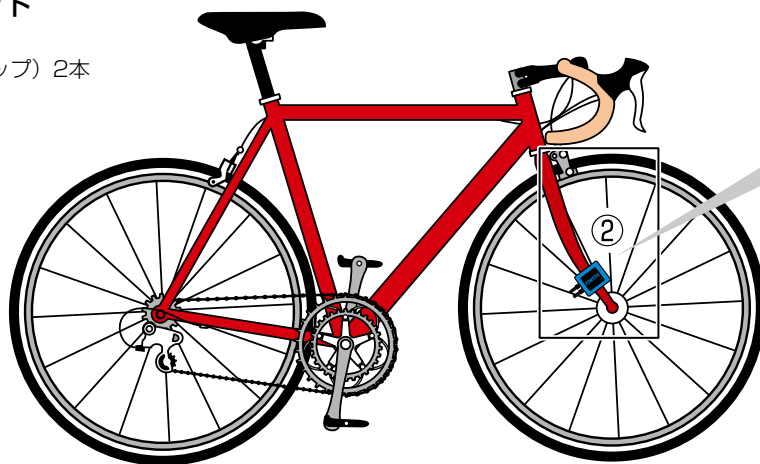


① パワータグセット

- ・ パワータグ1コ
- ・ 結束用具（タイラップ）2本

！ ご注意

計測タグ「パワータグ」はサイクルコンピュータのセンサーを装着しているホークの反対側に取り付けてください。センサーと計測タグを近くに取り付けると、どちらも作動しなくなる場合があります。



アンクルバンド式 計測タグ（チーム用）



エンデューロの記録計測に使用する計測チップはアンクルバンドタイプです。ライダーの足首に巻きつけて使用しますので下記の注意事項をよく読んで取り扱ってください。

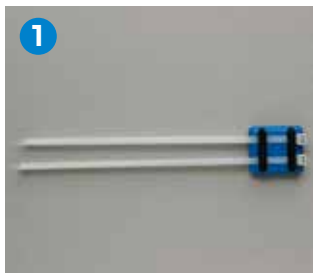
！ 取り扱いの注意事項

- 1) アンクルバンドタイプの計測チップは足首に巻きつけて走行します。審判員から視認できるように露出して装着してください。（左右どちらでも可）
※手首に巻いたりポケットなどには入れないでください。計測されない場合があります。
- 2) 計測チップの受け渡しは必ず停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは厳禁です。
- 3) 計測チップは精密機器です。ライダー交代の際に投げたりしないでください。落下して記録が計測できなくなることがあります。

※アンクルバンドは黒い面を外側（黄色面を内側）に足首に巻きつけてください。走行中に外れないようしっかり固定してください。



フロントホーク固定式 計測タグ 取り付け方・取り外し方



1 パワータグ裏面にあるゲタ状台座の穴に写真のようにタイラップを通します。



2 フロントホークに装着し、タイラップの細い先端を穴に通して強く引きます。



3 しっかり固定するまでタイラップを引き、タグがずれたり動いたりしないか確認します。



4 固定したら余分なタイラップを切り取ってください。



取り付け完了です。



取り外し方

取り外す時は、タイラップをニッパなどで切って外してください。フロントホークを傷つけないよう注意してください。

計測タグの返却

レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全て返却していただきます。

- 個人用計測タグは固定したタイラップを切って返却してください。
- アンクルバンド式計測タグはそのまま返却してください。



※自動計測器「パワータグ」は個人登録されていますので、返却されなかった場合は大会事務局より製作実費5,000円（個人用計測タグ）あるいは7,000円（アンクルバンド式計測タグ）を請求させていただきます。

ゼッケンの取付け位置

ゼッケンは走行中に外れないように各自でしっかり取り付けてください。ゼッケンが外れてしまったまま競技を続行することはできませんので注意してください。

※ゼッケンは写真を参考に、ジャージ（上着）の背中左側の位置につけてください。この時、背骨のラインにゼッケンの上端が沿うように取り付けてください。



イベントのご案内

参加
無料

ラップタイムと当選番号が一致すれば、賞金最大10万円が当たる！

ロトラップでドン！

レース中に1周ごとに記録されるラップタイムの下5桁と、レース前に発表される5桁の当選番号が一致すると、賞金を獲得できる「ロトラップでドン！」。レースに出場する全選手・チームが対象で、賞金総額はなんと10万円！賞金は該当チームで山分けしますが、当選者が1名なら10万円を独り占めです。

参加資格はレースで1周以上走るだけで、エントリーなどの手続きは不要。周回を重ねるごとに当選のチャンスが増えていくので、なるべく周回数を増やして“数撃ちや当たる”方式で当選確率を増やすか、ラップタイムを調整し確実性を高めながら当選を狙うかは自由です。

例年当選者が少なく、1名（またはチーム）での独り占めになることも多いこの企画。今大会で高額賞金をゲットするのはあなたかもしれない！？



時間・場所 13:30、15:30の表彰式にて（すべての競技終了後に当選者を発表いたします）

ロトラップでドン！実施概要

●大会前に発表される当選番号と、ラップタイム末尾5桁の数値が一致すると最大で賞金10万円が当たります。

※すべての競技終了後に当選者を発表いたします。

●賞金：10万円 対象：全種目 当選番号：23888 当選ラップタイム：[〇〇分23秒888]

●当選者が複数の場合は1,000円単位で分配します。

●ソロは個人に、チーム参加の場合はチームに賞金が贈られます。

※当選された方は必ず参加確認証をご持参ください。参加確認証をご確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

●4時間エンデューロ表彰時に当選者の1次発表を行います。全ての競技終了後、最終当選者及び賞金額を発表します。

●全競技終了後の最終発表時に当選者が不在の場合は、当選権利が失効しますのでご注意ください。

4時間、6時間の競技終了後に1日2回開催！
どちらの回も豪華賞品が続々登場！

参加
無料

抽選会

協賛社様よりご提供いただいた豪華賞品が当たるスズカ8時間エンデューロの人気イベント、抽選会。例年、完成車やフレーム、パーツ・アクセサリなど、サイクリスト垂涎のものから、お米のような家族に喜ばれるものまで、バラエティに富んだ賞品が続々と登場します。

今年はどんな賞品が登場するかご期待ください！

抽選会は、4時間エンデューロ終了後、6時間エンデューロ終了後の1日2回開催。レースにエントリーした選手であれば、誰でもどちらか1回だけ無料で参加できます。ご自身の都合のいい方に参加すればOKです。

当選を引き寄せるのに必要なのは、レース終了後、会場のメインステージ前に足を運び、抽選箱に抽選券を投入して、運を天に任せて自分のゼッケン番号が呼ばれるのを待ちましょう！



※4時間エンデューロ終了後と6時間エンデューロ終了後にそれぞれ実施しますが、参加（投票）する権利は**ひとり様1回のみ**です。ご自分が参加できる時間帯の抽選会に参加してください。

※当選された方は必ず参加確認証をご持参ください。参加確認証をご確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

※賞品贈呈は当選発表時にのみおこないます。**その場で当選者のお申し出がない場合は無効**となりますのでご注意ください。



1回目 投票締切 13:00～4時間エンデューロ表彰式終了まで（抽選箱は受付に設置）
抽選会開始 表彰式終了後引き続き行います（抽選会会場 表彰ステージ広場）

2回目 投票締切 15:00～6時間エンデューロ表彰式終了まで（抽選箱は受付に設置）
抽選会開始 表彰式終了後引き続き行います（抽選会会場 表彰ステージ広場）



**最新モデルや話題の製品をチェック！
試乗・試着、買い物まで楽しめるワンダーランド！**

サイクルバザール

おなじみの自転車ブランドやサイクルアクセサリ、メンテナンス講習など、協賛各社のブースが並ぶサイクルバザールは、スズカ8時間エンデューロを象徴する人気イベントのひとつ。各社が取り扱う様々なブランドの完成車の中には、市場に出回ったばかりの最新の2023モデルもあります。また、バイクやホイール、ヘルメットやアイウェアなど、試乗や試着がOKなものも。気になるものがあれば、いろいろ試すチャンス！タイヤやチューブなどの消耗品、何着あっても困らないサイクルウェア、パフォーマンスを発揮したりコンディションを整えるのに役立つドリンクやエナジーフード、サプリメントなど会場特別価格で販売するブースもあり、ショッピングだって楽しめます！

話題の製品を見たり試したりするだけでなく、買い物も楽しめるサイクルバザール。出展情報は大会公式ウェブサイトにもアップされるので、来場される前にこまめにチェックしてください！

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、出展ブース数を制限する場合があります。あらかじめご了承ください。

時間・場所 8:00 ~ 15:00予定 (ピットビルとチームオフィスの間にて)



アイウェアをよりフィットさせ、本来の機能を発揮させる

スポーツサングラスフィッティングサービス

無料

南船場スポーツグラスサロン 眼'z <<https://eglasses.wixsite.com/mysite>>

一人ひとりの顔の形に合わせて、いま持っている自分のアイウェア（サングラス）を絶妙に調整しフィッティングしてくれるスポーツグラスフィッティング。アイウェアは走行中の風や砂ぼこりから目を守るのに重要ですが、正しい位置に装着し、顔の形にフィットしていないと本来の機能を発揮できません。

大阪市でアイウェア専門店「眼'z」を営むスポーツサングラストラナー&アドバイザーの井上好広さんが1人あたりおよそ10分かけてテンブルの曲げ具合やノーズパッドなどを細かく調整。正しい位置に装着できて、フィット感もアップするようにフィッティングサービスを無料で行います。

一度試した方の中には、翌年に別のアイウェアを持参し、調整をお願いするリピーターになる方も少なくありません。

井上さんによると、「最近は欧米のアイウェアを選ぶ人が多いが、これらのブランドは主に欧米人向け。日本人が着ける場合はフィッティングが必要」とのこと。気になる方はぜひ足を運んでみては。



時間・場所 8:00 ~ 15:00予定 (メカニックサービス横にて開設)

参加
無料

レースを安全に走るための心得をマトリックスパワータグの選手から学ぼう

ロードレース講習会

講師 マトリックス・パワータグ



スズカ8時間エンデューロは、レース初心者も多く参加するイベント。こうした方の多くは集団走行に慣れていないため、まわりに大勢の参加者がいる中で走ることに不安を感じる人も大勢いるようです。そこで、本大会では、主に初心者を対象にしたロードレース講習会を開き、安全に走るために守るべきことや集団走行のコツを学ぶことができる機会を設けています。

講師を務めるのは、国内最高峰の自転車レース・Jプロツアーで活躍する本大会のホストチーム、マトリックス・パワータグの選手たち。まず講義で走行前のバイクの安全点検の仕方や安全な走り方、集団走行のポイントなどを説明します。その後、選手の先導でコースを試走し、講義で学んだ知識を走りながら体感し、さらに理解を深めます。レース初心者だけでなく、ある程度レース経験のあるサイクリストが集団走行のスキルを高めてレースでうまく立ち回るのにも役立つ内容です。あこがれのプロ選手の走りを近くで見られる貴重な機会でもあるので、多くの方の参加をお待ちしています！

※ヘルメット・グローブを着用の上、自転車を持参し、すぐに走れる格好でお越しください。



時間・場所 7:25 ~ (開始5分前までに ピットNo.48のピットロード側に集合)

MC紹介

こんなにも楽しい「自転車運動会」は、ココだけ！
待ちに待ったスズカを
最高に楽しく盛り上げるMC2人！

PROFILE / スポーツMCコウゼンさん (Team REAL)



大阪芸術大学舞台芸術学科卒業後、大手劇団を経てスポーツMCとしてもマイクを持ち始める。高校時代に始めたMTBのダウンヒル競技国内シリーズへの参戦や、メッセンジャーの世界大会に日本代表選手として出場した経験もある。スポーツMCとして更なる飛躍を目指しチームリアルに加入し、その才能を開花。俳優から転身した博学多才なスポーツMC。



PROFILE / 絹代さん

サイクルライフナビゲーター。MCや記事の執筆のほか、自転車の魅力や効能のメディアでの情報発信や自転車を軸とした、健康増進や美容、エコのフィールドで活動中。各地の自転車政策の検討委員も務め、地域おこしや、自転車の普及啓発活動にも携わる。

ホストチーム紹介

個人・チームのJプロツアー最多勝利記録達成へ

マトリックスパワータグプロフェッショナルサイクリングチーム <<https://team-matrix.jp/>>

結成17年目となるMATRIX POWERTAG。2019、2020、2021年とJプロツアーで個人・チームともに総合優勝し、今季2022年も総合優勝を決めツアー4連覇を果たしました！ツアーでの総合連覇、そして連勝も最多記録！これが2022年の“実録”前置きも言い訳もウンチクもない、バーチャルではなくリアルで語る“実録”をテーマに国際的浪花の我道で更なる覇業へ向けて進撃し続けます。これからも生々しいマトリックスパワータグをお見せしていきます！



■今シーズンを振り返って

少しづつではあるがコロナ不安にも明るい兆しが見え始め、ロードレース競技は徐々に以前の活動を取り戻しつつある2022年。開幕からマトリックスパワータグはパワー全開、若手筆頭的小林 海を中心にJプロツアーの開幕戦から連戦連勝の快進撃。ツアー前半で小林 海は6勝（うち3連勝を含む）、チームは7連勝という歴史的快挙を成し遂げる。後半に入りシーズンの疲れなどコンディション維持の難しさはあったが、前半で築いた牙城は揺れることはなく、早々にツアー総合優勝を確実なものにしている。2022年のJプロツアー、個人総合優勝は小林 海！そしてチーム総合優勝はマトリックスパワータグ！このシーズンでチームの結束力は更に強固なものとなり、目標は更にハイレベルなレースでの勝利にある。覇業への道へ進み続けます。



■チームメンバー

	Jose Vicente TORIBIO ALCOLEA ホセ ビセンテ トリビオ アルコレア ● 36才/175cm/64kg ● スペイン 2013年、2014年、2016年、2017年、2021年 JPT個人総合1位、2013年の来日から日本チームに在籍しJプロツアーで活躍、既に国際レースで多くの実績を持つ彼は次々と勝利を重ね、これまでに4回もの個人総合優勝を果たす。
---	---

	Francisco MANCEBO PEREZ フランシスコ マンセボ ペレス ● 46才/175cm/65kg ● スペイン 2005年ツール・ド・フランス総合4位、フェルタ・エスパーニャ総合3位、2019年ロンダ・フィリピナス個人総合優勝、2020年JPT経済産業大臣旗優勝、2021年播磨中央公園クリテリウムDay1優勝、広島さくらロードレースDay1優勝、2021年おいたアーバンクラシック優勝
--	--

	Leonel Alexander Quintero Arteaga レオネル アレクサンダー キンテロ アルテアガ ● 25才/180cm/65kg ● ベネズエラ 2020年Jプロツアー個人総合優勝、JPT広島森林公園ロードレース優勝、2022年TOJポイント賞、TDKステージ優勝、個人総合6位、JPT群馬CSCロードレース優勝
---	---

	狩野 智也 カノウ トモヤ ● 49才/173cm/62kg ● 群馬 2008年ジャパンプロツアー（JPTの前身）総合優勝、2011年ジャパンプロツアー富士ヒルクライム優勝、2020年JBCF東日本トラックポイントレース3位
--	--

	小森 亮平 コモリ リョウヘイ ● 34才/180cm/68kg ● 広島 2008年 全日本選手権 U23 優勝。2009年、2010年 世界選手権U23 日本代表、2017年Tour de Selangor 総合3位、The Princess Maha Chakri Sirindhorn's Cup Tour of Thailand 総合10位、2019年全日本選手権ロードレース17位、2021年JPT西日本ロードクラシック優勝、経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ3位
	安原 大貴 ヤスハラ ダイキ ● 31才/175cm/62kg ● 大阪 2015年JPT桐池高原ヒルクライム3位、2018年JPT東日本群馬ロード (Day2) 4位、2019年西日本チャレンジロード 優勝、2021年JPT個人総合9位、2022年JPT播磨中央公園ロードレース5位
	橋本 凌甫 ハシモト リョウスケ ● 30才/168cm/75kg ● 和歌山 2015年JBCF西日本/東日本トラック2大会連続スプリント・ケイリン優勝、2015年国民体育大会スプリント優勝
	田窪 賢次 タクボ ケンジ ● 27才/168cm/57kg ● 大阪 2015年JBCF西日本トラックポイントレース2位、2017年JPTまえばし赤城山ヒルクライム2位、JPT石川ロードレース2位
	植益 和行 ウエマス カズユキ ● 25才/172cm/65.3kg ● 大阪 2020年JBCF西日本トラックポイントレース優勝、オムニアム3位
	安原 昌弘 (監督) ヤスハラ マサヒロ ● 59才/170cm/66kg ● JPCA アトランタオリンピック代表、世界選手権代表9回、1995年アジア選手権優勝
	吉田 隼人 ヨシダ ハヤト ● 33才/174cm/66kg ● 奈良 2015年JBCF群馬CSCロードレース優勝。2017年宇都宮クリテリウム優勝、みやだクリテリウム優勝、シマノ鈴鹿ロードクラシック優勝、まえばしクリテリウム優勝、2019年Tour de Taiwan st5 3位、2019年TOJ総合50位、2021年石川クリテリウム優勝、おおいだいの道クリテリウム2位
	小林 海 コバヤシ マリノ ● 28才/173cm/64kg ● 埼玉 2016年全日本選手権ロードU23優勝、全日本選手権タイムトライアルU23優勝、GP Tetuan (スペイン) 優勝、2019年ツアー・オブ・ジャパン新人賞3位・総合8位、全日本選手権ロードレース 7位、2022年TOJ山岳賞、個人総合5位、TDK個人総合3位、JPT6勝
	永良 大誠 ナガラ ダイセイ ● 48才/180cm/64kg ● 兵庫 2014年西日本チャレンジ2位、2013年石川ロードレース8位
	真鍋 和幸 マナベ カズユキ ● 52才/172cm/65kg ● 香川 1996年アトランタオリンピック代表、1994年、1997年全日本実業団選手権優勝、2011年東日本実業団ロード2位
	瀧山 里玖 タキヤマ リク ● 24才/178cm/61kg ● 京都
	

2022年 戦歴 (Jプロツアー全18戦/9勝)

3月	Jプロツアー播磨中央公園ロードレースDay-2 ★1-2-3勝利	優勝 2位 3位	小林 海 レオネル・キンテロ フランシスコ・マンセボ
4月	Jプロツアー西日本ロードクラシック広島Day-1 ★1-2勝利	優勝 2位	小林 海 レオネル・キンテロ
4月	Jプロツアー西日本ロードクラシック広島Day-2 ★1-2-3-4勝利	優勝 2位 3位 4位	小林 海 レオネル・キンテロ ホセ・ビセンテ・トリビオ フランシスコ・マンセボ
4月	Jプロツアー群馬CSCロードレース4月Day-1 ★1-2勝利	優勝 2位	レオネル・キンテロ 小林 海
4月	Jプロツアー群馬CSCロードレース4月Day-2 ★1-2勝利	優勝 2位	小林 海 レオネル・キンテロ
5月	ツアー・オブ・ジャパン	ポイント賞総合 山岳賞総合	レオネル・キンテロ 小林 海
6月	ツール・ド・熊野	チーム総合優勝 第2ステージ優勝 個人総合3位	マトリックスパワータグ レオネル・キンテロ 小林 海
6月	Jプロツアー東日本ロードクラシック修善寺Day-1 ★1-2勝利	優勝 2位	小林 海 レオネル・キンテロ
6月	Jプロツアー東日本ロードクラシック修善寺Day-2	優勝 3位	小林 海 レオネル・キンテロ
7月	Jプロツアー石川クリテリウム	3位	レオネル・キンテロ
7月	Jプロツアー石川ロードレース	2位	小林 海
7月	Jプロツアー古殿ロードレース	3位	小林 海
8月	シマノ鈴鹿ロードレースクラシック	3位	吉田隼人
9月	ツール・ド・北海道	チーム総合3位	マトリックスパワータグ
9月	Jプロツアー経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ／南魚沼ロード	団体3位	マトリックスパワータグ
9月	Jプロツアー群馬CSCロードレース9月Day-1	3位	フランシスコ・マンセボ
9月	Jプロツアー群馬CSCロードレース9月Day-2	3位	フランシスコ・マンセボ
9月	Jプロツアー まえばし赤城山ヒルクライム	優勝	フランシスコ・マンセボ
10月	Jプロツアーかすみがうらロードレース	優勝	ホセ・ビセンテ・トリビ
年間	Jプロツアー 個人総合	優勝	小林 海
年間	Jプロツアー チーム総合	優勝	マトリックスパワータグ

